

HAWORTH

シェル:ドバイで 生み出すサステナブル ワークプレイス

2024

資料
シェル

場所
アラブ首長国連邦、
ドバイ

デザイン会社
Gensler



「オフィスインテリアをデザインすることは、従業員の第2のホームをデザインすることであるとも言えます。チームのニーズを理解することはもちろん、そのニーズを毎日快適に使用できる効率的なワークプレイスへと落とし込んだことが、成功の鍵となりました。」

シエル ポートフォリオマネージャー、Werner Immelman



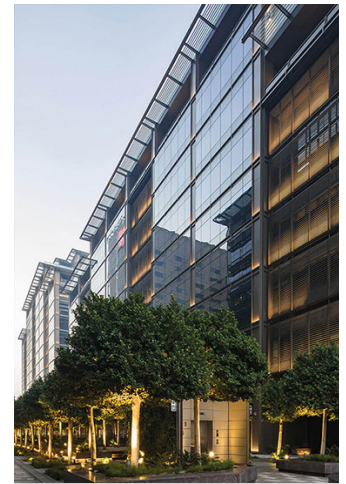
概要

8万人を超える従業員が活躍するグローバルエネルギー企業のシェルは、ドバイの中心地に位置するOne Central Buildingにオフィスを構えています。そして2020年、ワークプレイスの再定義に乗り出しました。目標となったのは、オフィス以上の空間、つまり単なる機能性を超えて、150人のメンバーのための第2のホームとなるような空間づくりです。課題となったのは、個人作業とチームワークのバランス、居心地の良い温もりある空間と作業集中を促す雰囲気とのバランスを取ること、そしてシェルの企業価値に沿うデザインを生み出すことでした。

このビジョンを実現するため、シェルはGenslerとヘイワースにサポートを依頼し、個人が作業環境へシームレスになじむことができるような、アジャイルなワークプレイス構築を目指しました。

デザインは、シェルの社内デザイン基準を始め、企業の地域的フットプリント、現地文化に沿うだけでなく、サステナビリティが促進されるものである必要がありました。

プロジェクト仕様



- 1200 m2
- 150人
- デザイン会社: Gensler

目的

個人作業とチームワークのバランス、居心地の良い温もりある空間と作業集中を促す雰囲気とのバランスを取りつつ、シェルの企業価値に沿うことができるような空間であるとともに、アジャイルかつサステナブルで、150人のメンバーにアットホームな居心地を提供するワークプレイスの構築。

ソリューション

多様なワークアプリケーションを展開: トレーディングチームにはデスクを、それ以外のチームには多数の打ち合わせエリアやコラボレーションエリアを提供。

結果

サステナブルかつアジャイルで、居心地の良いワークプレイスでありながら、企業の地域フットプリント、現地文化を反映させ、シェルチームおよびビジターが快適に過ごせる空間。

アジャイルかつ サステナブルな空間

サステナビリティがこのプロジェクトの指針となりました。

Genslerのアソシエイト / シニアインテリアデザイナーのMarcela Munoz氏は、プロジェクトにおいて重視されたこの点を強調しています。あらゆる家具、素材、照明は、シェルが掲げるカーボンニュートラルプログラムのサステナビリティ基準に沿うものが選ばれました。シェルのサステナビリティ戦略は、単なる認証という枠を超えたもので、プロジェクトには、カーボンフットプリントを測定し、評価指標を作成するコンサルタントチームを交え、徹底的な環境影響分析が行われました。

こうしたサステナビリティへの一貫したコミットメントは、基準を満たすだけでなく、新しい基準の構築へもつながっています。チームは通常のプロセスを一転させ、まず認証を受けたブランド探しから取り掛かり、ハイワースという答えにたどり着きました。そしてハイワースのカタログを吟味・考察した上で、設計意図を適応させました。

シェルのオフィスを訪れたビジターをまず迎え入れるのは、あふれるほどの自然光と、戦略的に配置されたタッチダウンおよびコラボレーションスペースです。シェルの広々としたレセプションエリアには、アイコニックなロゴと中東全体のフットプリントを示す立体的な地図を配し、印象的な空間を演出しています。



適応性と多様性を促進

役員室デザインは、適応性と多様性にフォーカスしたデザインとなっており、そのアプローチは折りたたみ可能なテーブルシステムに色濃く反映されています。テーブルは、役員ミーティングに一般的なU字型での設置はもちろん、トレーニングセッション向けに配列したり、その他のイベントに向けてすべてを取り除くことも可能です。異なる用途に合わせて自由に家具を配置できることで、チームのニーズに貢献しています。

この柔軟性の向上にある真のイノベーションとは、AV、IT、電気、接続要素にあります。床コンセントやカメラ、マイクなどの効率的な配置を、異なるチーム間で調整することが重要視されました。

「シェルの素晴らしいところは、話し合いやコラボレーションに最適な空間を幅広く提供してくれる点です。これらはシェルの未来が形成される場所、とも言えますからね」とMunoz氏は語ります。



充実した仕事を、 快適な空間で。

Shell WorkWellのコンセプトに基づき、トレーダーのワークプレイスには高さ調節可能なデスクを設置することで、一日中何度でも姿勢を変えることができるようにしています。デュアルモニターは眼精疲労の軽減に役立ち、ワークステーションには、居心地の良さやプライバシーを促進するためのアコースティックスクリーンを設置しています。

Veryタスクチェアは、ワークプレイス内でのコラボレーション時に可動性を提供することができます。直感的に操作できるランバーサポートは、快適性を高め、様々な作業をサポートします。

広々とした窓からは自然光がオフィス全体に降り注ぎ、屋外とのつながりが感じることができ、従業員の気分転換・向上に貢献します。



効率性を向上
するだけではなく、
より心地よい
作業時間の提供、
コラボレーション
を始め、相乗効果
や協同的成長
を促進するワーク
プレイス。



集まる。共有する。 コラボレーションする。

新しいスペースでは、即席のチームミーティングや手短な打ち合わせなど、あらゆるタイプのワークアクティビティを考慮しています。空間の大部分を占めるミーティングルームは、様々な働き方に適応できるようにデザインされています。アトリエスタイルでも、よりオーソドックスなセッティングでも、スペースの迅速性や効率性は失われません。

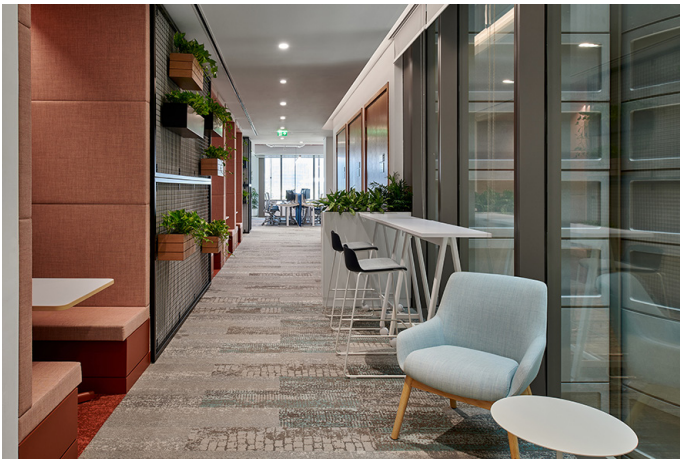
温もりのある心地よい空間を生み出す際に、カラー選択が重要な役割を果たしました。選び抜かれたカラーは、各空間の雰囲気や使用意図を定義するだけでなく、温もりや居心地の良さを促進しています。



デザインの多様性と、面倒な調節なく人間工学に基づいた快適な座り心地を提供できる点から、シェルは大半のミーティングルームにNiaチェアを採用しました。

音響性と プライバシーの向上

オフィスはプライバシーに配慮した空間を提供しています。廊下にはカジュアルなミーティングなどに最適な空間が提供されていますが、プライバシーへの真の取り組みは廊下の先に展開されています。この静かな空間では、従業員は真の静寂を心ゆくまで楽しむことができます。このエリア内にはBuzziSpaceポッドを配置し、忙しい一日やオフィスの喧騒から離れ、ふと一息つけるようなくつろぎの空間を実現しています。





エネルギー ハブとしても知られているシェル カフェには、エネルギー溢る鮮やかなカラーを採用しました。この空間は、レセプションエリアと同様にシェルのアイデンティティを定義するものとなっており、革新的なデザインとサステナビリティへのコミットメントが表現されています。

顧客企業情報

8万人を超える従業員を有する世界展開するエネルギー企業であるシェルは、パンデミックの余波を受け、不動産の規模縮小化を目指しました。目標となったのは、ドバイのOne Central Building内に優れた柔軟性を展開するワークスペースを確立することです。Genslerとヘイワースが連携し、プロジェクトの基盤となる第1段階で大きな貢献を果たしました。Genslerは代わり映えないオフィス空間の転換、そしてヘイワースはダイナミックかつ人間工学的な家具の提供を担当し、個人がオフィス環境にシームレスになじむことができるような空間を創造しました。

One Central Dubaiでの拡張プロジェクト(第2段階)では、第1段階での素晴らしい結果を基に計画・決断が進められました。Genslerとヘイワースは、新しいプロジェクトに論理的に取り組み、成功へと導きました。

使用されているヘイワース製品

- Nia
- Very タスク
- Maari
- Poppy
- Poppy ラウンジ
- Immerse
- HAT
- YourPlace
- Drift
- Intuity
- Sprig
- Openest Chick
- Cabanaラウンジ
- Pip テーブル
- Be_hold ロッカー

ヘイワースコレクション

- Paravert
- Ribbon スツール
- Gong サイドテーブル
- BuzziCube
- Hobo
- Marnie
- BuzziVille
- Newood
- Tate Soft
- Big Shadow
- A-Pult
- BuzziShield

詳しい情報をご希望の方は、haworth.comをご覧ください。

© 2024 Haworth, Inc. All rights reserved.

HAWORTH®は、Haworth, Inc.の登録商標です。